

25日から「ココブラ」春ツアー 案内人による街歩き

案内人の個性を生かした楽しい街歩きで新しい発見や体験をする「ココブラ」の春ツアーが、25日スタートする。松本や安曇野、大町にある土蔵、こま六、神社などを訪ねる全9回で、6月13日までの土日曜に開催。新型コロナウイルス対策で参加人数を制限して行う。

25日は、かわかみ建築設計室（松本市大手）の川上恵一さんが案内人を務める松本の「蔵」巡り。時代を生き抜いてきた蔵について解説する。午前9時半～正午。
こま六研究家の高松伸幸さん（52、安曇野市穂高有明）のツアーは、5月2日午前9時～正午が入門編として松本市街地のこま六巡り、6月6日午後0時半～4時半は「安曇野のこま六」のツアーの一場面



昨年のツアーの一場面

またのルーツは江戸にあり？」と題して、安曇野のこま六を訪ね、その素顔に迫る。

高松さんは「オンラインツアーもあるが、実際に見て、その場の空気に触れるのは全く違うと思う。人が歩いてこそその街。街と触れ合う気持ちを忘れず、楽しく歩いてほしい」。

他のツアーは、▽5月1日 松本の三峯神社とオオカミを探る旅▽同9日 地理教師と行く島内地形と湧水巡りハイキング▽同16日 安曇野市堀金の大庄屋・山口家の実像に迫る▽同22日 大町の町屋探訪▽6月12日 穂高有明の信仰拠点と伝説の舞台を探訪▽同13日 安曇野の湧水の秘密に迫る。参加費は各2000円（5月16日は要問い合わせ）。定員各10人。予約制。時間など詳細や申し込みはホームページ（「ココブラ信州」で検索）から。